

- 個別学習 ■ 教師説明型
- 一斉学習 ■ 児童生徒自主学習型

仙台市立愛子小学校
村上由里子

実践タイトル 動画で毛筆の筆使いを知ろう

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・電子黒板に手本を提示してはらいの書き方を指導し、本時の学習のねらいを全員につかませる。

PC教材

・左はらいと右はらいの動画を視聴させることで、力の入れ方を理解させる。

参考にしてほしいポイント

- ・電子黒板に左はらい・右はらいの動画を映すことで、力の入れ方や筆を動かす速さなどを分かりやすく伝えることができる。児童を集合させる必要がないのでスムーズに授業が進められる。
- ・児童がPCで自由に動画を視聴できるようにしたので、何度も筆遣いを確かめながら練習を進めることができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を確認する。 ・「大」の左はらいと右はらいの書き方について学習する。 ・左はらいと右はらいの動画を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・PC教材(書写指導教材)(写真1・2)
展開 10 35	<ul style="list-style-type: none"> ・左はらいと右はらいを書くときの力の入れ方をワークシートを使って練習する(練習中に筆使いを確認したい場合は、動画を視聴する)。 ・力の入れ方に気を付けて「大」を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートPC ・PC教材(書写指導教材)(写真3)
まとめ 35 45	<ul style="list-style-type: none"> ・できあがった作品を相互に鑑賞する。 ・学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板 ・実物投影機



写真1: 電子黒板で本時の課題を提示して学習に関心を持たせる



写真2: 動画で左はらい・右はらいの力の入れ方を学習する



写真3: 練習中に動画で力の入れ方を確認する

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・はらいは速く運筆するものと思っている児童が多かったが、動画の視聴を通して、穂先をまとめながらゆっくりはらうとよいことを理解させることができた。
- ・動画は繰り返し見られるので児童の自主学習の教材ともなり、練習への意欲が高まった。

活用効果

評価の観点	・国語への関心・意欲・態度	具体的変容	・左はらい・右はらいを書くときの力の入れ方の違いについて、関心をもって知ろうとしていた。練習中にも動画を視聴し、筆遣いを確認する姿が見られた。
-------	---------------	-------	---

実践の手応え

- ・筆圧は毛筆にとって重要な要素だが、言葉で理解させることは難しいので範書や動画で運筆を見せることが効果的だと感じた。